

佐藤訪米阻止!

11.6

全国全共闘総決起集会に集まれ!

10・21闘争の成果の上に

11・13—17首都制圧・羽田占拠闘争に決起せよ!

全国全共闘連合

〒代田区飯田橋二の三の二三〇七
TEL 二六三一四九六七

一〇・二一首都制圧大闘争を革命的に闘い抜いた全ての学友諸君!

首都東京を中心に名古屋、大阪、九州、仙台、札幌等々全国各地において決起した百万余にのぼる労働者・学生・市民の闘いは、敵権力の十月非常体制による闘争の圧殺の企図を打ち破り、歴史的安保、沖縄決戦に全国反戦・全国全共闘、戦國的市民の戦線が公然と登場したことを明確にした。

千百十余名にのぼる大弾圧にも拘らず、一〇・八以来の反帝闘争・大学闘争を通して形成された闘争の着実な前進と高揚が日本帝国主義総体との非和解的対決の過程へと突入したことを鮮明にした。

革命的闘いにさし向けられた国家権力機動隊の戒厳令体制を突き破って展開された一〇・二一闘争は新宿、東京駅、神田を焦点に権力そのものの打倒へと迫まる革命的街頭戦として闘い抜かれ、敵権力の「勝利」のしなり顔にも拘らず、益々革命的エネルギーの噴出を現実化せしめている。一〇・二一闘争の決着は、未だつけられてはいないのだ。

社・共・総評の改良主義、合法、議会主義野党と政府自民党と癒着による政治的支配の安定という伝統的政治支配構造を崩壊させつつ進む今日の階級闘争の中において、敵権力が企図したものは、この構造からはみ出し本質的反乱へと転化しつつある現局面とこの領導部隊を徹底して弾圧し、圧殺することによって、闘争全体を強権的弾圧とこの伝統的支配構造の中に包摂せんとすることに他ならない。

我々は、この企図を打ち砕いて一〇・二一をかちとり、佐藤訪米阻止を頂点とするこの秋の安保・沖縄決戦の「死闘の一ヶ月」の決定的突破口を切り拓いたことをはっきりと確認しなければならぬ。

全ての闘う学友諸君!

今や政府支配者階級は、安保非常体制の上に、七〇年安保の要衝沖繩の帝国主義的施政権返還を実現せんとしている。

沖繩を要石とする帝国主義のアジア反革命体制の確立こそ七〇年代の激動を乗り切る重要な環をなしている。

この日米帝国主義の路線を根底的に打ち砕くか否かが、一〇・二一に始まり佐藤訪米阻止を頂点とする「死闘の一ヶ月」の決戦の根本的任務であり、これをなしとげ得る戦線は、民族排外主義を越えて帝国主義総体との真向からの対決に進まんとする革命的沖繩人民と全国反戦・全国全共闘を最前線にすえた本土人民の共同戦線を除いては他にない。

全国全共闘は、一〇・二一闘争の決定的成果と教訓とに踏まえ、十二月国会解散十一月総選挙という議会主義的收拾路線を粉碎し、階級の流動をつくり出すべく全力をふるって再度敵権力に挑戦するだろう。

「佐藤訪米阻止! 十一・一三—一七首都制圧、羽田占拠貫徹」として武装せる巨万の隊伍を公然と登場させるだろう。

政府打倒へと攻めのぼる安保・沖縄決戦期に今日までの一切を投入して闘い抜こう!

「全国全共闘統一武装行動隊」とその「軍団」の意識的形成を媒介に、帝国主義との死闘に勝利しぬく大衆の総武装をかちとり、機動隊殲滅・首都制圧・羽田占拠貫徹に決起せよ!

十一・六佐藤訪米阻止全国全共闘総決起集会に結果せよ!

- ◇ 安保粉碎・沖縄闘争勝利!
- ◇ ベトナム人民の解放闘争勝利! 全アジア人民と連帯して闘おう!
- ◇ 佐藤訪米実力阻止!
- ◇ 沖繩の帝国主義的処分! 日米交渉粉碎!
- ◇ 佐藤政府打倒!
- ◇ 安保非常体制突破!
- ◇ 佐藤訪米阻止、十一・一三—一七首都制圧・羽田占拠闘争に決起せよ!

佐藤訪米阻止

11・6 全国全共闘総決起集会 午後2時
於/日比谷野音